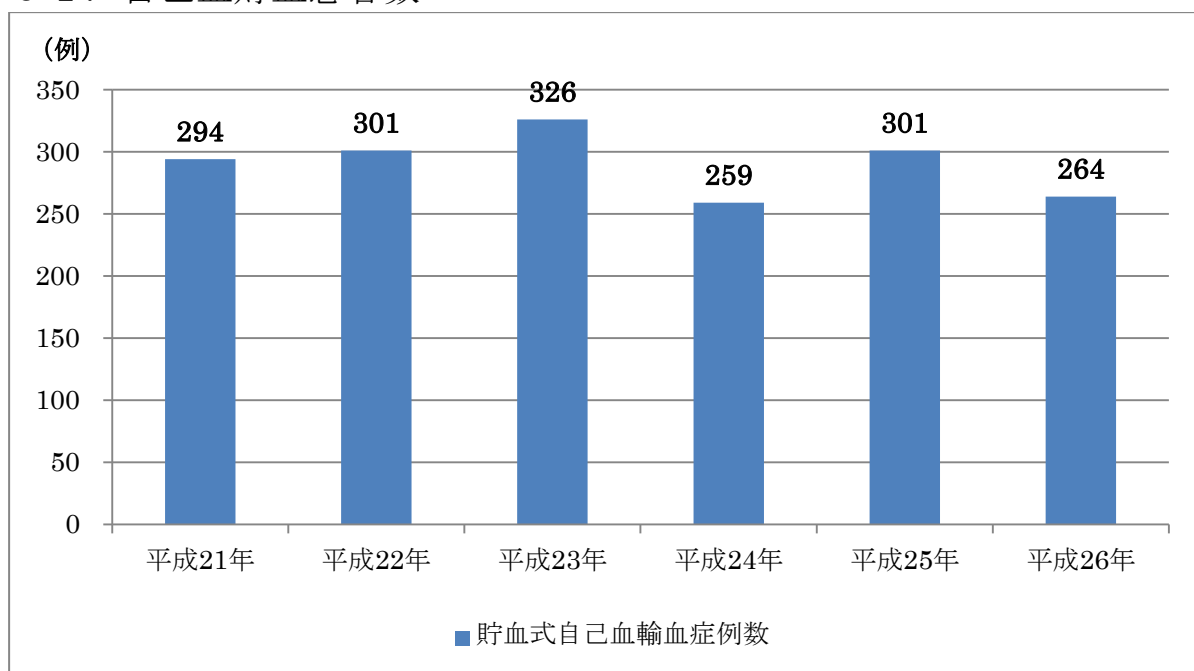


9 1. 自己血貯血患者数



自己血輸血は、待機的手術症例において予め患者自身の血液を採血・保管しておき、手術時に輸血が必要となった際に患者本人の血液を輸血する輸血療法である。他人の血液を輸血した際に発生する感染症や副作用等を回避できるメリットがある反面、自己血採血を行うために来院して頂く事や、採血により一時的に患者の血液量が減るため、適応に関しては検査データを確認した上、主治医と輸血部で判断している。

輸血部では、安全な採血が行えるよう自己血輸血マニュアルを整備し、輸血認定看護師立ち会いによる採血、輸血部技師による製剤化と適正な保管・管理に努めている。

尚、平成26年度の主な依頼診療科は、整形外科、産婦人科、形成外科である。

データ提供 輸血部